

## 特別講座実施報告



# 特別講座実施報告

教育・普及委員会

## 1. 概 要

2017年8月25日(金)に品質工学特別講座が品質工学会事務所で開催された。参加者は13名であった。

この特別講座は、前回までは「品質工学の基礎と事例学習セミナー」という名称で開催してきたが、知識を伝達する意味のセミナーという言葉を使わずに、双方向コミュニケーションにより品質工学の理解を深めようという講座の意図を考えて、名称を変更したものである。また、「基礎」という言葉は初心者や入門者向けに、計算手順を教授するものだと誤解を招きやすいとの声があり、「基礎」という言葉は使わないことにした。

特別講座の内容は田口玄一が著した論文を教材として品質工学の考え方を学ぶことと、併せて優秀事例により品質工学の実践的な知見を得ることを目指したものである。今回も、これまでと同じくパラメータ設計で4つのセッションが企画された。それぞれのセッションで議論の時間が設けられたが、少人数によることと講師の解説の工夫により、話題が尽きず盛況であった。アンケートでも「議論できたのがよかった」という意見を多数頂いている。

また、本講座は学会が主催するという一方で、従来からあるセミナーのような講師が知識を伝達するという一方ではなく、参加者との双方向コミュニケーションによって品質工学の理解を深める新しい教育の形を狙っている。その双方向コミュニケーションの手段として、テキストを事前に参加者へ送付し、田口の論文を読み、それに対する質問の提出をお願いした。提出された質問に対して、講座当日に講師が直接解説を行った。この事前宿題は参加者の

アンケートや、3章に掲載した参加者の感想から好評であったと考える。事前宿題を組み込んだ本講座のプログラムは成功であった。

なお、幾つかの質問については、学会誌の品質工学入門者向け解説欄「QEアラカルト」への掲載を検討している。

このような有意義な特別講座が開催できたことに対して、参加者の方々、本企画・運営に関わった関係者および講師の方々に感謝する。今後は、さらなる内容のブラッシュアップを図りたい。

以下に当日のプログラムを記載する。時間はおよそその値である。

13:00 セッション-1 品質から機能へ

Hamada Quality Solution 浜田和孝

14:50 休憩

15:00 セッション-2 製品開発から技術開発へ

コニカミノルタ(株) 田村希志臣

15:50 セッション-3 シミュレーションによるロバ

スト設計 コニカミノルタ(株) 近藤芳昭

16:40 休憩

16:50 セッション-4 技術開発のマネジメント

エスケー石鹸(株) 安藤欣隆

17:40 事前宿題解説+回収した質問への回答

東京電機大学 中島建夫

まとめ

(18:00終了)

## 2. セッション

### 2.1 事前宿題

品質工学を深く理解するためには、田口玄一の考えを理解することが必須である。そのためには田口